

## 第1・2回部会 意見対応表(第2部会関係)

参考資料2

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 /部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
1	第2部会	重点戦略8	仕事や子育て環境に係る新潟市の強みの要素を、戦略展開の方向に加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、戦略展開の方向に新潟市の子育て環境の強みを加えました。	P91 重点戦略8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現 戦略展開の方向 ・ <b>一方、新潟市は待機児童数ゼロを維持するなど充実した保育環境を有していますが</b> 、夫婦の理想とする子どもの数と現実の子どもの数には差があります。その理由として、教育にかかる経済的な負担の大きさのほか、仕事と子育ての両立の困難さが挙げられています。
2	第2部会	政策8 産業・雇用	地域内経済循環は「政策8 地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」だけではなく、「分野5 産業・交流」の中で生み出すことが重要という記載にしていますはどうか。	地域経済循環については、政策8「産業・雇用」だけでなく、農業や観光などにおいても同様に重要であると認識しています。ご意見を踏まえ、「分野5 産業・交流」の中で生み出すことが重要となるよう加筆しました。	P147 新潟市の現状/将来を見据えた課題 市内所得と地域内経済循環 ○地域経済を活性化させるためには、 <b>農業・観光も含めた市内産業全体で</b> 、地域内外から稼ぐ力を高めるとともに、稼いだお金が地域内で投資・消費され、それがまた新たな所得として循環していく「地域内経済循環」を生み出すことが重要です。
3	第2部会	政策8 産業・雇用	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「多様な人材の活躍」二つ目の○において、若者の市外への転出超過解消への取組の記載を、企業誘致以外の要素も加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、若者の市外への転出超過解消への取組に関する記載を右のとおり加えます。	P148 新潟市の現状/将来を見据えた課題 多様な人材の活躍 ○新潟市には、大学や専門学校など高等教育機関が集積しており、地域の産業を担う多くの人材を輩出しています。一方で、若者を中心に、職業を理由とした市外への転出超過が続いていることから、魅力ある企業の誘致や <b>若者の市内就労への意識醸成、市内企業の認知度向上を促進すること</b> などにより、若者に選ばれる雇用の創出が重要です。
4	第2部会	政策8 産業・雇用	施策1④の商店街の施策について、取組が将来に向かってどのように進んでいくのか具体的に表現してはどうか。	ご意見を踏まえ、商店街の施策の具体的な方向性について右のとおり記載しました。	P149 施策1 地域企業の持続的発展に向けた経営支援 ④地域経済の持続的発展に向けた取組 ○商店街が地域住民やコミュニティが求める多様なニーズに応え、 <b>世代を超えて人々が集う交流の場を設けるなど、商業機能に加え</b> 、住民の暮らしを支える視点を持った場として持続、発展できるよう、地域の実情に合わせて支援します。
5	第2部会	政策8 産業・雇用	施策2において、挑戦を促す環境づくりへの取組を記載するとともに、官民連携を含めた地域ネットワークの活用などの要素を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、地域ネットワークの活用について右のとおり記載しました。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ①起業・創業しやすい環境づくり ○起業家の支援・育成に取り組むとともに、 <b>企業や地域などの多様なネットワーク形成を促進すること</b> で、創業しやすく、安定的に事業が継続できる環境づくりに取り組みます。
6	第2部会	政策8 産業・雇用	施策2において、起業・創業及び新規事業創出に向けた取組などに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。	起業・創業及び新規事業創出に向けた取組などに対し、法令等を遵守しながらも、柔軟に幅広いサポートが必要であり、頂いたご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ①起業・創業しやすい環境づくり ○食関連産業の集積など新潟市の特色を活かした、市内事業者とスタートアップとのオープンイノベーションを促進し、新規事業の創出に <b>際しても課題に寄り添いながら幅広く</b> 支援します。
7	第2部会	政策8 産業・雇用	施策2③の一つ目、三つ目の○において、もう少し具体的な方向性や表現など、内容を加筆してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ③戦略的な企業立地・誘致の推進 ○ <b>産業活力拠点の形成に向けた</b> 計画的な工業用地の整備と、 <b>充実した広域交通基盤などの</b> 地域特性を活かした企業立地を促進します。  ○企業の立地・誘致の推進により、 <b>多様で魅力ある</b> 雇用の創出を図ります。
8	第2部会	政策8 産業・雇用	施策2④において、海外事業の重要性や輸出促進に向けた取組の方向性を加えてはどうか。	海外に向けた販路拡大は重要であると認識していることから、ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。 なお、市単独の輸出額等については技術上把握できないものの、個別事業の成果指標として「輸出」という観点で設定できないか検討します。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ④海外ビジネスの推進 ○新潟市の強みである食分野を中心とした <b>輸出促進に向けて</b> 市内事業者の海外販路拡大を支援します。
9	第2部会	政策8 産業・雇用	輸出について、個別事業の成果指標として捉えていくことを検討してはどうか。	輸出について、個別事業の成果指標として捉えていくことを検討してはどうか。	

No.	全体会 /部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
10	第2部会	政策9 農林水産	「儲かる農業」のイメージが掴みづらいので、イメージがわかるような記載を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P153 基本的方向 良好な営農条件を備えた農業生産基盤の整備・保全と生産体制の強化、販売力の向上を通じて、 <b>若者を選ばれ、農業、農村が元気になる</b> 「儲かる農業」を実現し、意欲ある担い手等の確保・育成により、持続可能な農林水産業を目指します。
11	第2部会	政策9 農林水産	施策1④における果樹の記載について、「需要はあるものの生産が著しく減少しており、それに対応するための支援を行う」という記載を補記してはどうか。	ご指摘の課題については、「新潟市の現状／将来を見据えた課題」の中で記載し、生産拡大に向けた具体的な対策については、個別の実施計画の中で記載を検討します。	P153 新潟市の現状／将来を見据えた課題 揺らぐ農業構造 今後、農業就業者の減少と高齢化がさらに進展するものと見込まれています。後継者がいない農家の急増は、 <b>新たな需要に応じた農産物の生産が困難になるおそれがあります。</b>
12	第2部会	政策9 農林水産	「スマート農業の加速化」をタイトルに国家戦略特区の指定がぶら下がっているが、国家戦略特区をタイトルとして、「大規模農業の改革」や「スマート農業の加速化」をぶら下げる形にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P154 <b>国家戦略特区制度の活用</b> ○平成26(2014)年に「大規模農協の改革拠点」として、国家戦略特別区域に指定されて以降、デジタル技術の活用による農業の生産性向上プロジェクトが数多く取り組まれ、その成果は広く農業現場で活用されています。  ○「儲かる農業」の実現には、デジタル技術を活用して、営農の省力化や効率化を進める <b>などスマート農業の加速化</b> が重要です。
13	第2部会	政策9 農林水産	施策1③において、担い手の確保・育成を図るうえで、ターゲットとなる後継者をどのように捉え、対策を講じていくのか補記してはどうか。	農業に意欲ある方が次世代の担い手になっていただきたいと考えています。また、ご意見のとおり、事業の展開にあたっては、ターゲットを意識することで、事業効果が高まるよう事業内容を検討していきます。なお、具体的な対策については、個別の実施計画の中で記載を検討します。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ③意欲ある担い手等の確保・育成 新規就農者の技術及び知識の習得や意欲ある担い手が営農を継続できる環境を整備するなど、多様な担い手の確保・育成を進めます。
14	第2部会	政策9 農林水産	将来を見据えた課題として、日本の人口減少による需要の減少、海外の人口増加などを踏まえた、グローバルな観点からの記載を追記してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ⑤所得拡大に向けた販売力の強化 ○食の拠点性向上に向けて、食に関する新たなビジネスチャンスを生み出すほか、 <b>海外の市場動向や輸出環境等を踏まえながら</b> 、米をはじめとした農産物の輸出促進に取り組みます。
15	第2部会	政策9 農林水産	施策1⑤において、販売促進・販路開拓の部分で具体的な方向性や若者の意見を取り入れたSNSでの広報など、もう少し記載を加えてはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、農産物の作付状況や市場の動向、販売店舗での売れ行きなどをみながら、販売促進・販路開拓に取り組んでいきます。また、対面でのPRIに加え、SNSの積極的活用といった具体的な手法等については個別の取り組みの中で検討していきたいと考えています。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ⑤所得拡大に向けた販売力の強化 市内農業団体等と連携し、地域一体となって園芸作物(野菜、果物、花き)の販売促進・販路開拓に取り組みます。
16	第2部会	政策9 農林水産	施策2において、農林水産業を活かした新しい事業やアイデアに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P156 施策2 農林水産業を活かしたまちづくり ③新潟の農水産物と食文化を全国に発信 新潟市の強みである食と花、食文化の魅力を発信し、多くの人がその魅力に触れられる機会を提供すると <b>ともに、農林水産業を活かしたアイデアにより</b> 食と花の販路の拡大及び都市と農村の交流を推進し、農林水産業の振興と豊かな市民生活の実現を図ります。